

令和元年11月28日  
令和元年度 第1回  
健康づくり推進協議会

## 資料3-1

# ジェネリック医薬品の使用促進について

# ジェネリック医薬品の使用促進

【KPIまたは検証指標】 KPI：ジェネリック医薬品使用割合 78.8%

【実績】 76.3% (令和元年6月末現在)

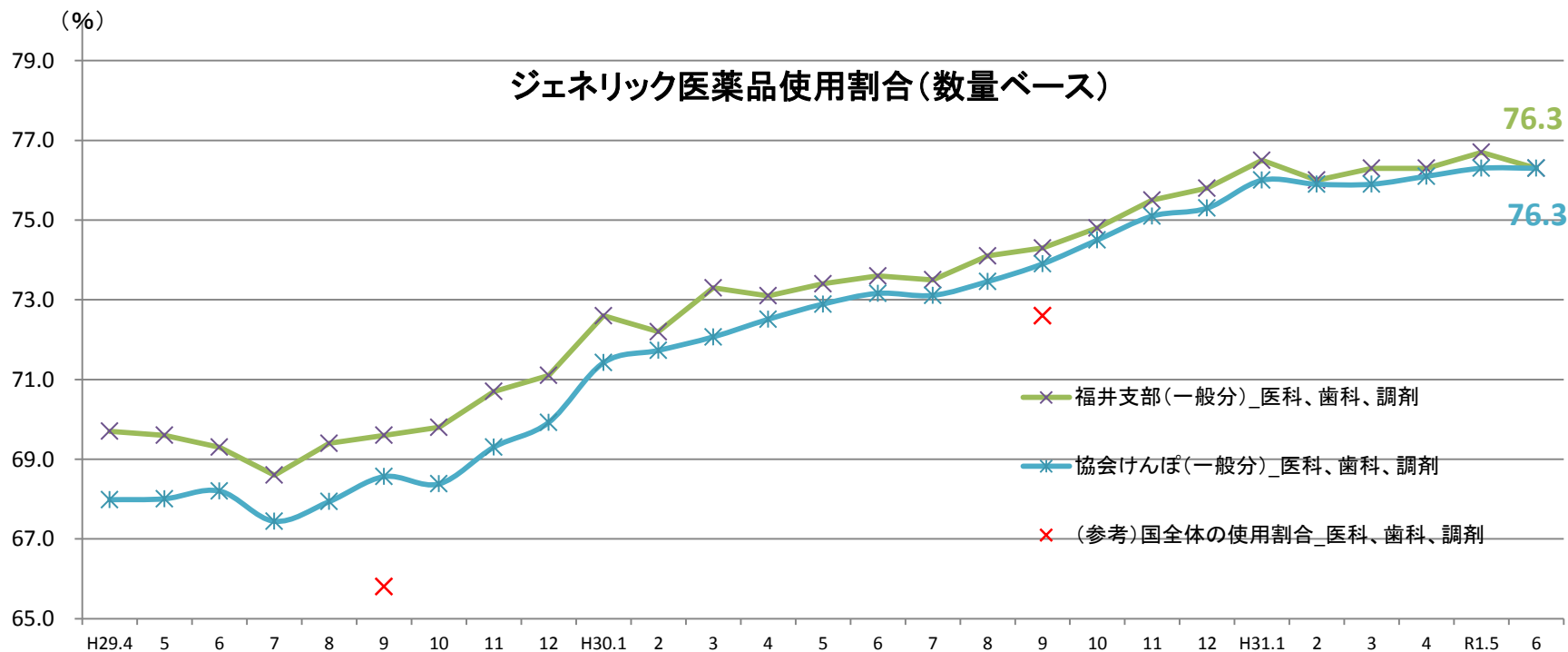
## 実績（結果）

【ジェネリック医薬品使用割合 推移】

(単位: %)

	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6
福井	75.8	76.5	76.0	76.3	76.3	76.7	76.3
全国	75.3	76.0	75.9	75.9	76.1	76.3	76.3

本年度度からは、医科、歯科、DPCも対象。



# 1. ジェネリック医薬品軽減額通知

加入者の皆さまのお薬代の負担軽減につながる「ジェネリック医薬品」の普及・推進のため、処方された薬をジェネリック医薬品に切り替えた場合に、どのくらいお薬代の自己負担額が軽減されるか試算した「ジェネリック医薬品軽減額通知」を自己負担額が一定額以上お安くなる方にお送りしています。また、ジェネリック医薬品希望シールも同封して切り替えの働きかけを行っています。

**【令和元年度の実施概要】**  
 (1) 通知対象医薬品  
 慢性疾患（リウマチ、喘息）、生活習慣病（糖尿病、高血圧症）の治療薬を始めとする、長期間（14日以上）継続して服用することが考えられる医薬品を対象。ただし、がん治療薬、精神疾患治療薬、HIV治療薬、ジキタリス製剤を除く。  
 (2) 通知対象年齢 18歳以上の加入者  
 (3) 軽減可能額の基準 医科：500円以上、調剤：50円以上  
 (4) 通知書の送付月 令和元年8月、令和2年2月



＜ジェネリック医薬品軽減額通知＞

★ジェネリック医薬品軽減額通知の結果★

	送付者数 (のべ)	切替者数 (のべ)	切替率	軽減効果額/年
全国	33,015,833人	9,032,580人	27.4%	約1,640.2億円
福井支部	213,390人	62,556人	29.3%	約11.6億円

平成21年度から平成30年度までの10年間に約3,300万人の方に送付し、27%を超える方が後発品に切り替えています。

※平成21年度から平成30年度までの10年間の累計。軽減効果額は、軽減額（月）×12か月（単純推計）

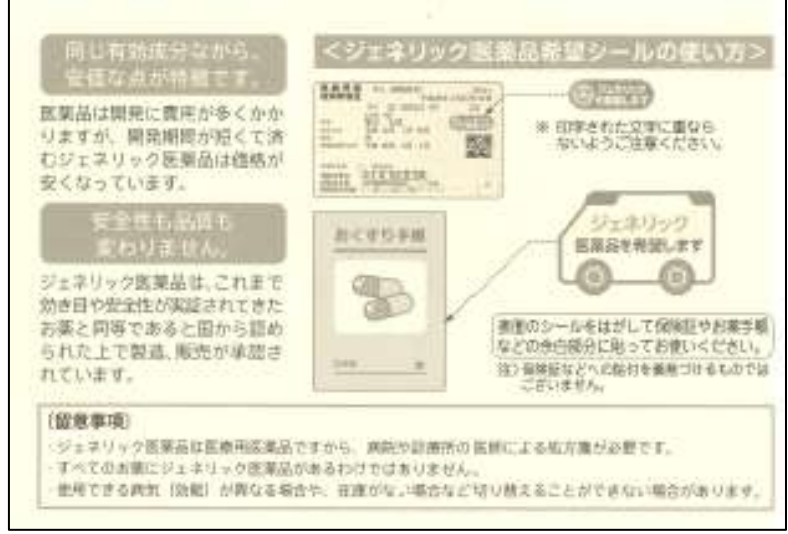
# 2. 小児向けジェネリック医薬品希望シールの配布

ジェネリック医薬品の使用率を年代別で比較すると、福井支部は特に5~9歳の小児層において使用率が低い状況です。小児層向けのジェネリック医薬品希望シールを調剤薬局から患者に配布して使用促進に繋げています。

小児患者の多い調剤薬局85薬局に200枚ずつ配布（9月）



<小児向けシール 表>



<小児向けシール 裏>

### 3. ジェネリック医薬品の工場見学

ジェネリック医薬品使用割合の低い小児層と保護者を対象に、お薬に関する講話や実験、工場見学等を通じて楽しみながらジェネリック医薬品について正しく学んでもらうことで、使用促進に繋がっています。

令和元年8月3日 実施

「夏休み 体験！発見！」おくすり工場

(会場：小林化工(株)清間第二工場)

【主催】協会けんぽ

【共催・後援】(共催)小林化工(株)、(後援)福井県薬剤師会

【参加者数】76名(36組) ※午前・午後2回開催

【内容】

- ① 講話「おくすりについて知ろう！」
- ② 実験(ジェネリック医薬品に施された工夫を知る)
  - ・水への溶けやすさを先発品と比較。
  - ・フルーツの香りを付けたジェネリック医薬品のおいを嗅ぐ。
- ③ 工場見学
- ④ 分包機を使った調剤体験
- ⑤ 薬剤師への質問コーナー



<工場見学の様子>



<質問コーナーの様子>

協会けんぽ加入者限定  
たいげん ほっけん  
体験！発見！  
夏休み おくすり工場  
参加無料 各40名

日にち 令和元年8月3日(土)

ところ 小林化工株式会社  
清間第二工場  
(あわら市清間11-15) ※無料駐車場あり

時間 ●第1グループ / 10:00~11:40  
※9:30より受付  
●第2グループ / 14:00~15:40  
※13:30より受付

対象者 協会けんぽ加入の小学3・4年生と保護者  
※参加者全員のお申し込みが必要です。詳しくは裏面をご覧ください。  
※小学3・4年生向けの内容のため、対象学年以外のお子様の参加はご遠慮ください。

知る おくすりの秘密にせまる！  
おくすりについて楽しく学ぼう

観さつする おくすりは体の中でどうなるの？  
おくすりを使って実験してみよう

見がくする 巨大おくすり工場に潜入！  
おくすりができるまでを見に行こう

参加特典 夏休みの自由研究にも活用できる「おたすけノート」送呈  
楽しく学んで一石二鳥!!

お申し込みは裏面です！  
一般社団法人 福井県薬剤師会

主催：全国健康保険協会福井支部 共催：小林化工 株式会社 後援：福井県薬剤師会

# 4. 薬学部を目指す高校生セミナーへのブース出展

薬剤師を目指す高校生とその保護者に向けて、薬剤師と協会けんぽ事業との関わりやジェネリック医薬品について知ってもらうことで、将来の協力関係の構築に繋げる。

令和元年8月12日  
**「2019年度高校生セミナー 薬学への招待」**

【主催】 福井県薬剤師会、福井県病院薬剤師会  
 【会場】 ハピリンホール（福井市）  
 【参加人数】 104名

【内容】

- 1.薬学への誘い～薬剤師になる方法～
- 2.若手薬剤師からのメッセージ（仕事紹介）
- 3.現役薬学性からのメッセージ（学生生活について）
- 4.学校紹介/相談コーナー

協会けんぽのブースを出展し、高校生と保護者にチラシとジェネリック医薬品希望シールを配布

**薬剤師を目指すなら 知っておこう 薬価削減のこと**

【目録】  
 ① 薬価削減のメリット  
 ② 薬価削減のデメリット  
 ③ 薬価削減の仕組み  
 ④ 薬価削減のメリット  
 ⑤ 薬価削減のデメリット

① 薬価削減のメリット

- ・本人（被保険者）  
・家族（被扶養者）
- 【本人（被保険者）とは】  
健康保険料を納めている方  
【家族（被扶養者）とは】  
被保険者の収入によって家族している  
家族の方

② 薬価削減のデメリット

- ・期間  
本人（被保険者）の勤務先企業
- ・費用  
【定額】被保険者の健康保険料（本人額）  
※本人も家族も同じ額

③ 薬価削減の仕組み

④ 薬価削減のメリット

⑤ 薬価削減のデメリット

⑥ 薬価削減の仕組み

⑦ 薬価削減のメリット

⑧ 薬価削減のデメリット

⑨ 薬価削減の仕組み

⑩ 薬価削減のメリット

⑪ 薬価削減のデメリット

⑫ 薬価削減の仕組み

⑬ 薬価削減のメリット

⑭ 薬価削減のデメリット

⑮ 薬価削減の仕組み

⑯ 薬価削減のメリット

⑰ 薬価削減のデメリット

⑱ 薬価削減の仕組み

⑲ 薬価削減のメリット

⑳ 薬価削減のデメリット

㉑ 薬価削減の仕組み

㉒ 薬価削減のメリット

㉓ 薬価削減のデメリット

㉔ 薬価削減の仕組み

㉕ 薬価削減のメリット

㉖ 薬価削減のデメリット

㉗ 薬価削減の仕組み

㉘ 薬価削減のメリット

㉙ 薬価削減のデメリット

㉚ 薬価削減の仕組み

㉛ 薬価削減のメリット

㉜ 薬価削減のデメリット

㉝ 薬価削減の仕組み

㉞ 薬価削減のメリット

㉟ 薬価削減のデメリット

㊱ 薬価削減の仕組み

㊲ 薬価削減のメリット

㊳ 薬価削減のデメリット

㊴ 薬価削減の仕組み

㊵ 薬価削減のメリット

㊶ 薬価削減のデメリット

㊷ 薬価削減の仕組み

㊸ 薬価削減のメリット

㊹ 薬価削減のデメリット

㊺ 薬価削減の仕組み

㊻ 薬価削減のメリット

㊼ 薬価削減のデメリット

㊽ 薬価削減の仕組み

㊾ 薬価削減のメリット

㊿ 薬価削減のデメリット

【お問い合わせ先】  
 全国健康保険協会 福井支部  
 〒910-6541 福井市大字3-4-1 福井県協会ビル  
 ☎0776-27-8301（全線対応グループ）

<チラシ 表>

<チラシ 裏>



<会場の様子>

# 5. 厚生局と連名のジェネリック医薬品使用促進勧奨（12月実施予定）

厚生局と連名で医療機関と調剤薬局へジェネリック医薬品使用促進の協力依頼を行い、参考として「医療機関・調剤薬局見える化ツール」を配布します。このツールは、施設ごとにジェネリック医薬品使用割合や地域内での立ち位置を「見える化」し、施設属性に応じたメッセージを届けることを目的としています。具体的には分布図を用いた県内におけるジェネリック医薬品の処方度合いの位置づけや、二次医療圏別のジェネリック医薬品処方割合などのデータを記載しており、自施設の位置づけが一目でわかります。

## 医療機関・院外処方版

## 医療機関・院内処方版

## 薬局版

1. 県内施設別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

2. 二次医療圏別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

3. 施設属性別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

4. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

5. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

6. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

7. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

8. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

9. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

10. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

1. 県内施設別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

2. 二次医療圏別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

3. 施設属性別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

4. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

5. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

6. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

7. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

8. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

9. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

10. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

1. 県内施設別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

2. 二次医療圏別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

3. 施設属性別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

4. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

5. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

6. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

7. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

8. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

9. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

10. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

1. 県内施設別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

2. 二次医療圏別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

3. 施設属性別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

4. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

5. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

6. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

7. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

8. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

9. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

10. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

1. 県内施設別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

2. 二次医療圏別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

3. 施設属性別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

4. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

5. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

6. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

7. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

8. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

9. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

10. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

1. 県内施設別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

2. 二次医療圏別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

3. 施設属性別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

4. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

5. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

6. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

7. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

8. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

9. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

10. 処方薬剤別のジェネリック医薬品処方割合の推移と立ち位置

# 6. ジェネリック医薬品使用割合80%以上の認定事業（2月実施予定）

ジェネリック医薬品の使用割合が80%以上の調剤薬局を対象に、ジェネリック医薬品の普及に貢献いただいていることに感謝の意を表し認定を実施しています。  
 協会けんぽが保有するレセプト情報から認定対象となる調剤薬局を抽出し、福井県薬剤師会様と協会けんぽ福井支部の二者連名で認定しています。  
 認定調剤薬局には認定証やポスター等各種広報物を交付し、ジェネリック医薬品の更なる使用促進をお願いしています。

### 【昨年度の認定証授与式】

- 1.日 時 平成31年2月1日（金） 13：30～14：00
- 2.場 所 みどり薬局（福井市光陽3-4-12）
- 3.出席者 みどり薬局 管理薬剤師 大元 真澄 様  
 福井県薬剤師会 会長 篠田 秀幸 様  
 協会けんぽ福井支部 支部長 畑 秀雄

### 授与式の流れ

- 1.協会けんぽ福井支部長の挨拶
- 2.認定証授与（篠田会長から）
- 3.篠田会長からお一言
- 4.みどり薬局様からお一言
- 5.記念撮影
- 6.記者質疑応答



<認定証見本>



平成30年度 みどり薬局（福井市）



平成29年度 協和調剤薬局（福井市）



# 令和元年度の認定調剤薬局

【ジェネリック医薬品使用割合別調剤薬局数】

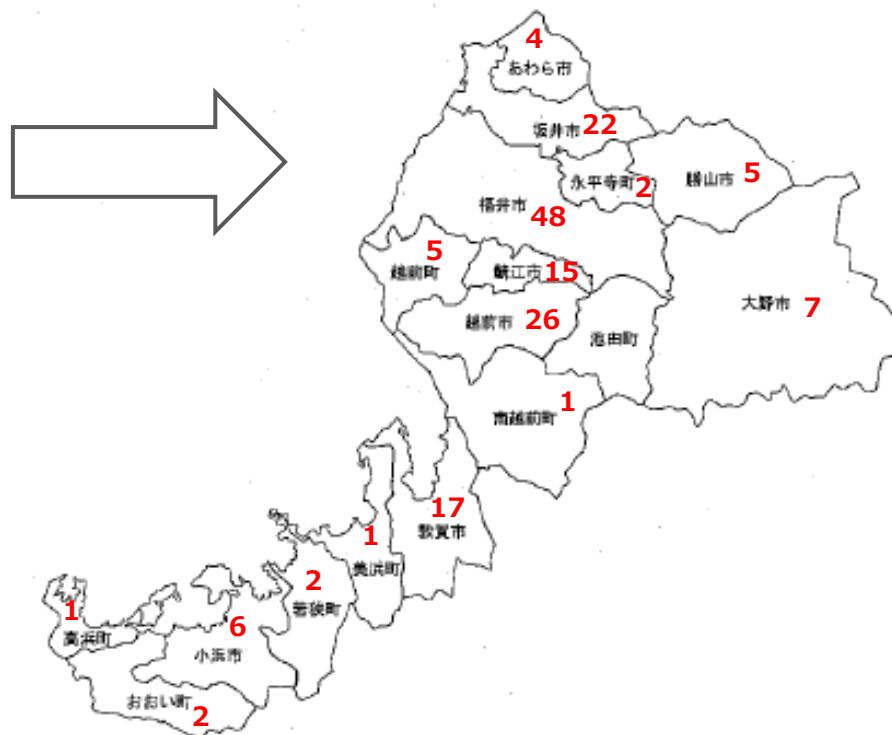
使用割合	対象調剤薬局数
90%以上	41
80%台	123
70%台	63
60%台	25
50%台	9
50%未満	10
合計	271

164

(平成31年4月診療分)

※協会けんぽ福井支部にレセプト請求のあった調剤薬局のみ

市町別使用割合80%以上の調剤薬局数 (計164か所)



【ジェネリック医薬品使用割合80%以上の調剤薬局数】

28年度	29年度	30年度	元年度
44	85	116	164

## 1. 調剤薬局におけるジェネリック医薬品試算による切り替え事業

### （1）事業の概要

- 実施期間 平成31（2019）年4月1日～2020年3月31日
- 実施内容 患者にジェネリック医薬品に切り替えた場合の試算を行い、ジェネリックへの切り替えをお勧めする。
- 協力薬局 34薬局（令和元年9月末現在）
- 薬局調査 協力薬局への訪問(5薬局)とアンケート調査(29薬局)で現状把握

【2019.4～2019.8までの結果】

参加調剤薬局	試算人数	切り替え人数	切り替え率
34薬局	640人	451人	70.5%



＜ポスター＞

## **(2) 事業を推進する過程での問題点**

- 実際に試算を行った薬局は協力を申し出た薬局の半数程度に留まった。
- 試算を始めた薬局の中で試算をしなくなった薬局が出てきた。
- 試算を行っている薬局の試算人数と切り替え人数が減少してきた。

## **(3) 現状把握をするため協力薬局への訪問(5薬局)とアンケート調査(29薬局)を実施**

- 切り替え試算の提示が、ジェネリックへの切り替えを促す効果は明らかであるが、対象の患者に対して一回り勧奨し切り替えが終了すると、対象者がいなくなるため、切り替え人数が急激に減少することが判明した。

# アンケート結果（抜粋）

試算途中結果	4月	5月	6月	7月	8月	アンケート実施数	送付数	回答数
試算実施薬局数	18	16	14	13	10	毎月試算している薬局	14	11
試算人数	305	135	75	80	44	途中から報告書未提出の薬局	9	8
切替え人数	231	84	54	48	33	試算を実施しなかった薬局	6	4
切替え率	75.7%	62.2%	72.0%	60.0%	75.0%	計	29	23

毎月試算している薬局	回答数	複数回答
GEに切り替える患者の増加	3	
薬局側の意識の向上	7	
特になし	3	
その他	1	
計	14	

途中で試算を止めた薬局	回答数	記述部分	複数回答
忙しくて患者に説明等ができない	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試算にかかる時間、患者の説明に時間がかかり影響が大きい</li> <li>・この事業にかかる手間を減らすことも重要</li> <li>・新規の方が少ない</li> </ul>	
対象者への説明が一通り終わった	4		
GEに切り替える患者がいなかった	1		
報告書の記入に手間がかかり大変	1		
その他	3		

最初から試算を行わなかった薬局	回答数	記述部分	複数回答
忙しくて患者に説明等ができない		<ul style="list-style-type: none"> <li>・変更可能な処方箋はほぼ行っている</li> <li>・現在先発医薬品を使用している方の大部分にはすでに声をかけている</li> <li>・試算する前に変更いただける場合が多い</li> <li>・対象となる患者がいらない</li> </ul>	
対象者への説明が一通り終わった			
GEに切り替える患者がいなかった	3		
報告書の記入に手間がかかり大変			
その他	1		

## 2. 薬品販売業者のジェネリック医薬品切替え提案にかかる調査・分析事業

### (1) 事業の概要

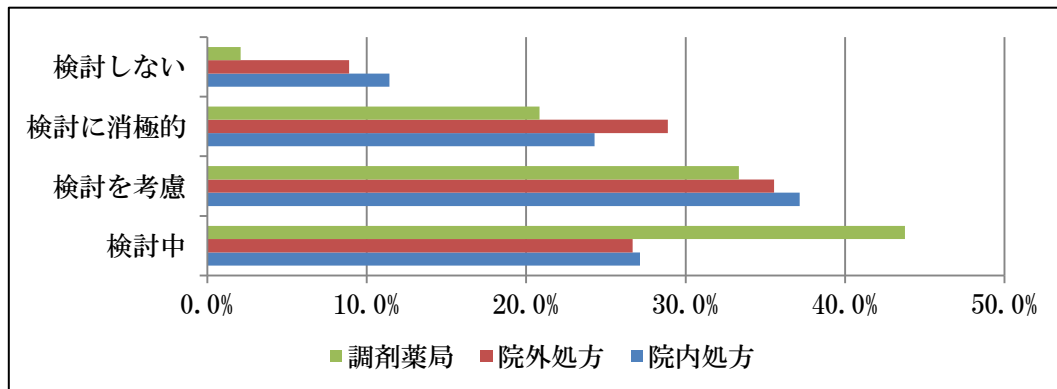
- 実施期間 平成31（2019）年4月1日～2020年3月31日
- 業務内容
  - ・ 医療機関と調剤薬局を訪問し、ジェネリック医薬品の切り替えについて現状の環境や考え方等を調査
  - ・ ジェネリック医薬品に関係したセミナー開催の支援

# 調査結果中間報告（抜粋）

Q1 後発医薬品の切り替え検討について	院内処方	院外処方	調剤薬局
検討中	19	12	21
検討を考慮	26	16	16
検討に消極的	17	13	10
検討しない	8	4	1
計	70	45	48

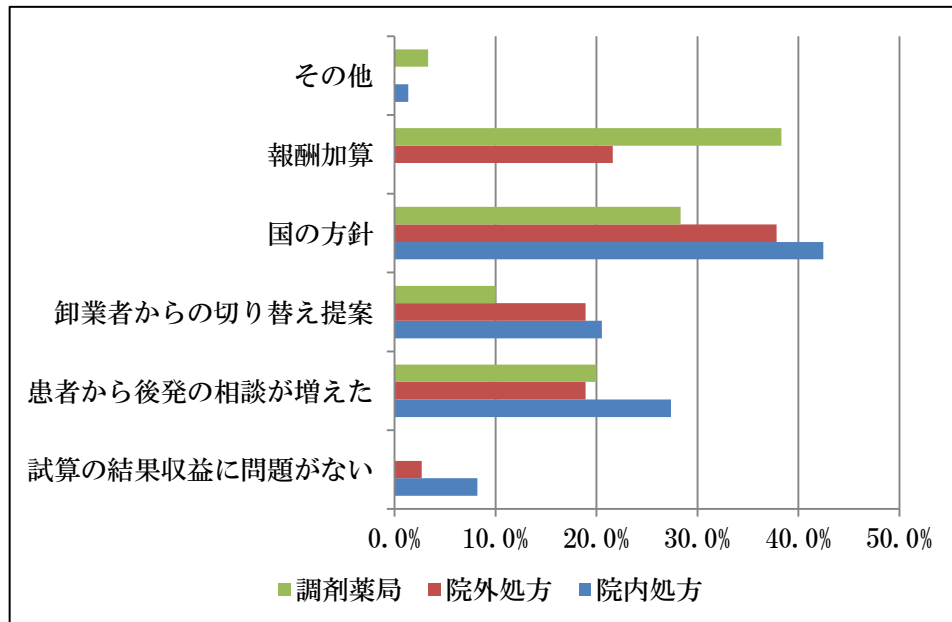
	院内処方	院外処方	調剤薬局
検討中	27.1%	26.7%	43.8%
検討を考慮	37.1%	35.6%	33.3%
検討に消極的	24.3%	28.9%	20.8%
検討しない	11.4%	8.9%	2.1%
計	100.0%	100.0%	100.0%



Q2 Q1で「検討中」または「検討を考慮」と回答した理由	院内処方	院外処方	調剤薬局	計
試算の結果収益に問題がない	6	1	0	7
患者から後発の相談が増えた	20	7	12	39
卸業者からの切り替え提案	15	7	6	28
国の方針	31	14	17	62
報酬加算	0	8	23	31
その他	1	0	2	3
計	73	37	60	170

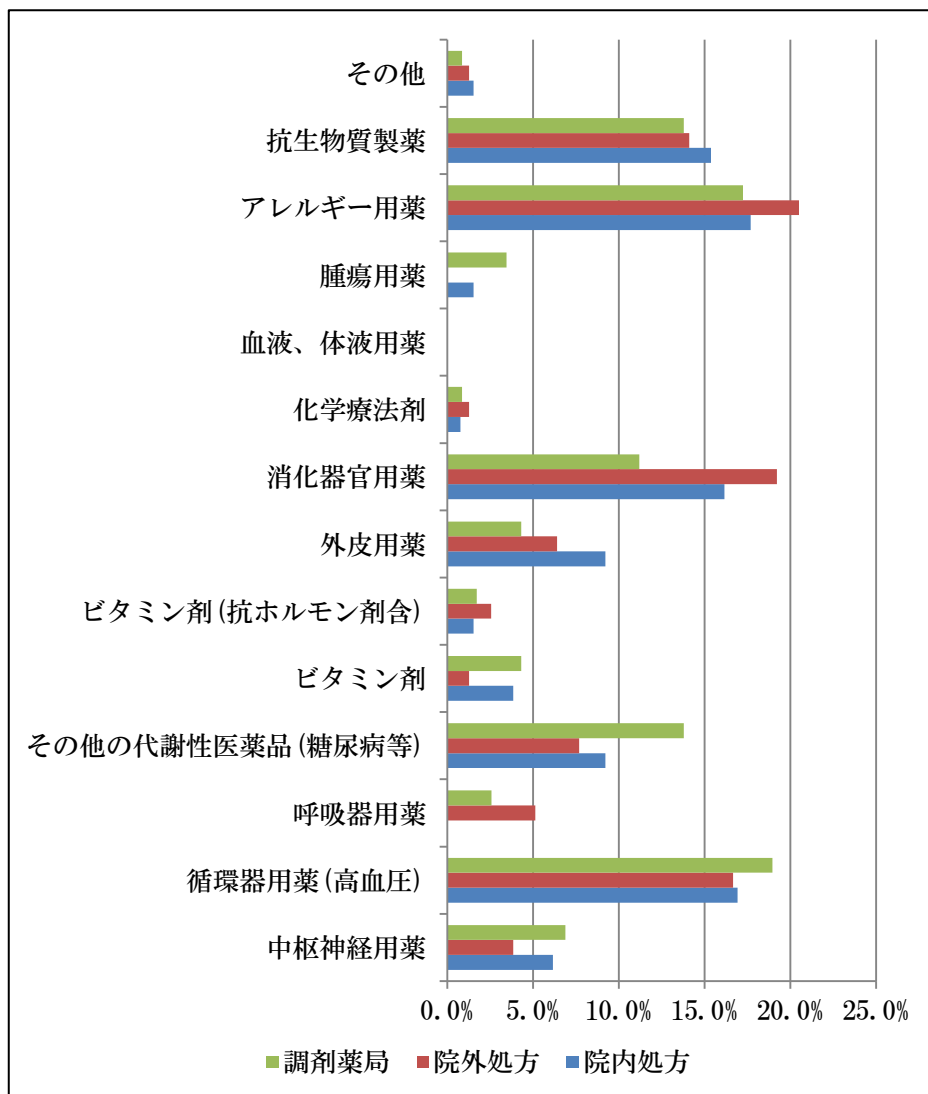
	院内処方	院外処方	調剤薬局	計
試算の結果収益に問題がない	8.2%	2.7%	0.0%	4.1%
患者から後発の相談が増えた	27.4%	18.9%	20.0%	22.9%
卸業者からの切り替え提案	20.5%	18.9%	10.0%	16.5%
国の方針	42.5%	37.8%	28.3%	36.5%
報酬加算	0.0%	21.6%	38.3%	18.2%
その他	1.4%	0.0%	3.3%	1.8%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



# 調査結果中間報告（抜粋）

Q3切り替えを検討した薬の種類(複数回答)	院内処方	院外処方	調剤薬局	計
中枢神経用薬	8	3	8	19
循環器用薬(高血圧)	22	13	22	57
呼吸器用薬	0	4	3	7
その他の代謝性医薬品(糖尿病等)	12	6	16	34
ビタミン剤	5	1	5	11
ビタミン剤(抗ホルモン剤含)	2	2	2	6
外用用薬	12	5	5	22
消化器官用薬	21	15	13	49
化学療法剤	1	1	1	3
血液、体液用薬	0	0	0	0
腫瘍用薬	2	0	4	6
アレルギー用薬	23	16	20	59
抗生物質製薬	20	11	16	47
その他	2	1	1	4
計	130	78	116	324

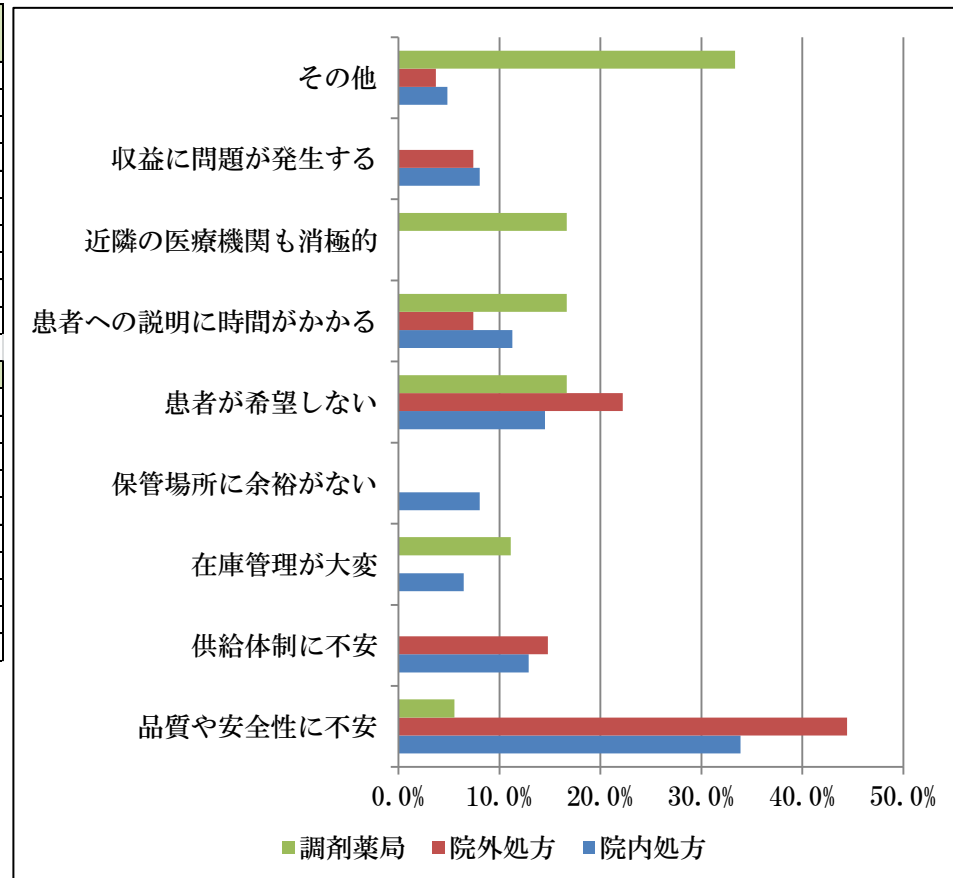
	院内処方	院外処方	調剤薬局	計
中枢神経用薬	6.2%	3.8%	6.9%	5.9%
循環器用薬(高血圧)	16.9%	16.7%	19.0%	17.6%
呼吸器用薬	0.0%	5.1%	2.6%	2.2%
その他の代謝性医薬品(糖尿病等)	9.2%	7.7%	13.8%	10.5%
ビタミン剤	3.8%	1.3%	4.3%	3.4%
ビタミン剤(抗ホルモン剤含)	1.5%	2.6%	1.7%	1.9%
外用用薬	9.2%	6.4%	4.3%	6.8%
消化器官用薬	16.2%	19.2%	11.2%	15.1%
化学療法剤	0.8%	1.3%	0.9%	0.9%
血液、体液用薬	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
腫瘍用薬	1.5%	0.0%	3.4%	1.9%
アレルギー用薬	17.7%	20.5%	17.2%	18.2%
抗生物質製薬	15.4%	14.1%	13.8%	14.5%
その他	1.5%	1.3%	0.9%	1.2%



# 調査結果中間報告（抜粋）

Q4 「検討に消極的」または「検討しない」と回答した理由(複数回答)	院内処方	院外処方	調剤薬局	計
品質や安全性に不安	21	12	1	34
供給体制に不安	8	4	0	12
在庫管理が大変	4	2	2	6
保管場所に余裕がない	5	0	0	5
患者が希望しない	9	6	3	18
患者への説明に時間がかかる	7	2	3	12
近隣の医療機関も消極的	0	0	3	3
収益に問題が発生する	5	2	0	7
その他	3	1	6	10
計	62	27	18	107

	院内処方	院外処方	調剤薬局	計
品質や安全性に不安	33.9%	44.4%	5.6%	31.8%
供給体制に不安	12.9%	14.8%	0.0%	11.2%
在庫管理が大変	6.5%	11.1%	11.1%	5.6%
保管場所に余裕がない	8.1%	0.0%	0.0%	4.7%
患者が希望しない	14.5%	22.2%	16.7%	16.8%
患者への説明に時間がかかる	11.3%	7.4%	16.7%	11.2%
近隣の医療機関も消極的	0.0%	0.0%	16.7%	2.8%
収益に問題が発生する	8.1%	7.4%	0.0%	6.5%
その他	4.8%	3.7%	33.3%	9.3%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%





### 3. 漫画で解説リーフレットを配布する医療費適正化事業

#### （1）事業の概要

- 配布期間 令和元年10月末日
- 業務内容 漫画を用いた医療費適正化のリーフレットを作成し、医療機関と調剤薬局へ提供（ジェネリック医薬品、多剤投与、はしご受診、時間外診療、資格喪失後受診、接骨院・整骨院の正しいかかり方等）

#### （2）事業を推進する過程での問題点

- 下期に配布後の状況を確認

### 4. 漫画で解説チラシを配布するジェネリック医薬品促進事業

#### （1）事業の概要

- 配布期間 令和元年10月末日
- 業務内容 漫画を用いたジェネリック医薬品の解説チラシを作成し、調剤薬局へ提供

#### （2）事業を推進する過程での問題点

- 下期に配布後の状況を確認

## 下期に向けた課題

- ・ これらの事業の推進状況等について、ご質問・ご意見があればお願いします。